

第二回村民ワークショップ結果

1.開催概要

テーマ (各班①→②の 順に実施)	①中心市街地の景観をどのように形成していくか
	②カラマツ等の耕地防風林をどう残していくか
募集方法	一般：村広報誌、村公式SNS、村内放送（情報無線） その他：前回参加者と関係団体への呼びかけ
参加者	中札内村の村民14人：第一回参加者 8人／初参加 6人
実施日時	2024年6月7日（金）18：30～20：30
会場	中札内村役場 会議室2

景観ワークショップの参加者募集

中札内村らしい景観、後世に残したい景観等について
意見交換を実施します。

■日 時	令和6年6月7日（金）午後6時30分～8時30分
■会 場	中札内村役場 会議室2
■募集期間	令和6年5月24日（金） ※応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。
■申し込み先	企画財政グループ TEL（67）2491

募集案内：広報 なかさつない

Ⅰ.開催概要

◆参加者の属性とグループ分け

参加者の属性	1班	2班	3班	合計
a) アンケート調査での希望者・一般参加者	2	1	1	4人
b) 農業に携わっている方々		1		1人
c) 自然調査や自然体験に関わってきた方々		1	1	2人
d) 観光関係に携わっている方々	1		1	2人
e) 商工関係に携わっている方々	1		1	2人
f) まちの花づくりに携わっている方々	1	1	1	3人
合計	5	4	5	14人

2.開催目的

第1回ワークショップ

景観についてのとらえ方、認識を共有

第2回ワークショップ

景観の問題点を共有

テーマ①
中心市街地の景観をどのように
形成していくか

テーマ②
カラマツ等の耕地防風林をどう
残していくか

今後の取組方法を検討

協働：村民参加方法
誘導：ガイドライン／支援方法
規制：行為の制限方法

等

2.開催目的

- ・令和5年度アンケート、第一回ワークショップより、景観形成に向けて村民との協働が必要な問題点について、今後の取り組み方針を協議することを目的とする。

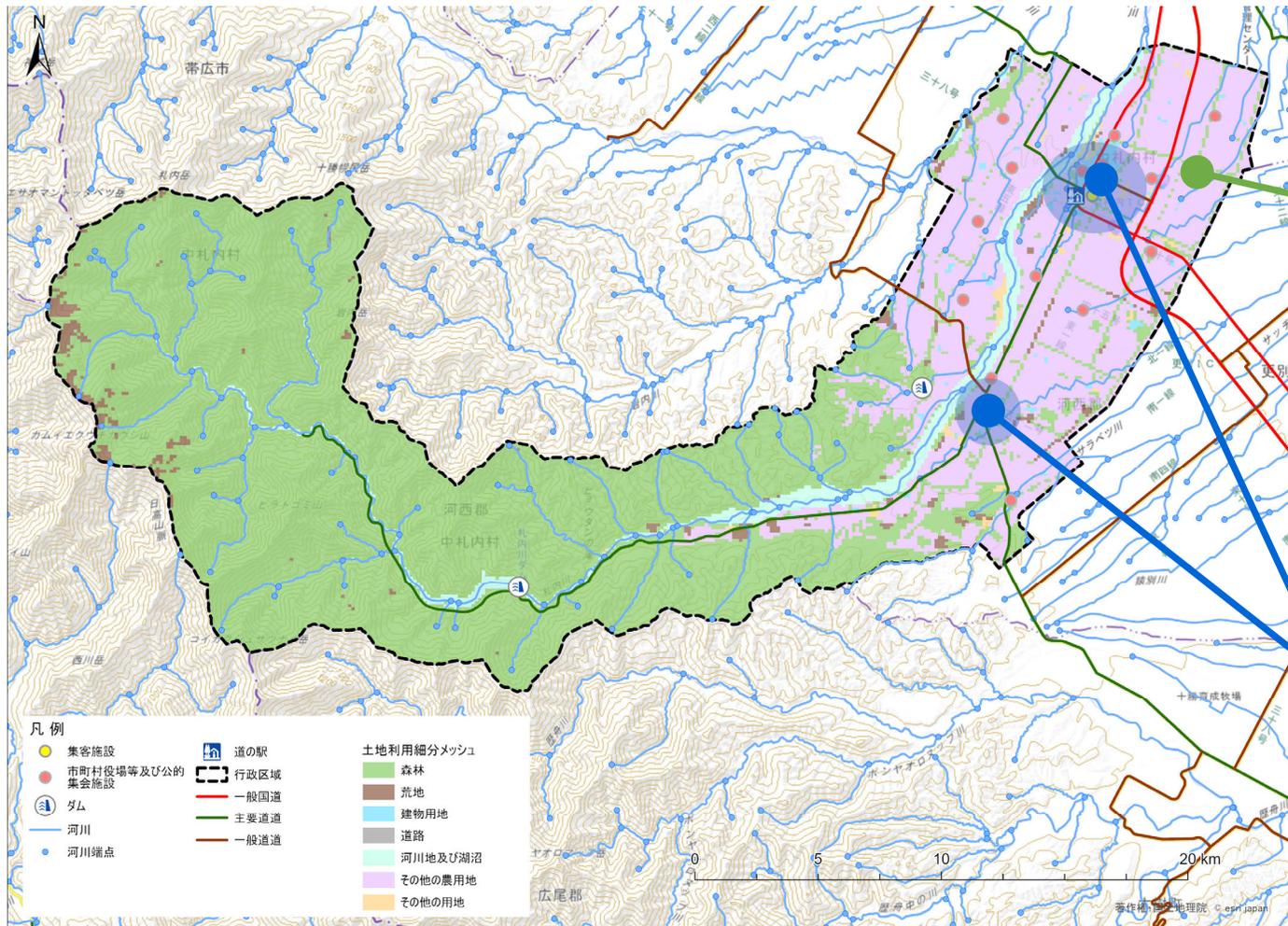
景観形成に向けて村民との協働が必要な問題点

分類	景観類型	村民のとらえ方	村民の課題意識
自然	山並み／河川／景勝地／動植物	中札内らしい景観：ピョウタンの滝（園地）／日高山脈 心に残る、シンボルとなるような樹木：樹木林（シラカバ、カシワ等）	視点場の保全・再設置・形成／自然体験の促進・PR／植生の保全・育成
農地・採草放牧地	耕作地／採草地／家屋・施設／防風林	中札内らしい景観：農地（平坦・波状・碁盤目状） 保全したい景観：防風林 心に残る、シンボルとなるような樹木：樹木林（シラカバ、カシワ等）	耕地防風林の保全／生産効率低減対策／防風保安林の活用／耕作放棄地の活用／イタドリ等の除草／ごみ放棄防止・清掃対策
市街地	花・緑／街並み	心に残る、シンボルとなるようなまち並み：道の駅／文化創造センター	街路樹・花の景観形成と維持／統一性の向上／活性化
施設	交流施設／公園／道路	活用したい景観：道の駅／六花の森／文化創造センター 心に残る、シンボルとなるような建物：文化創造センター／中札内美術村	良質な緑景観の普及・形成・維持／緑地の活用／行事等での活用／名所化／景観阻害要素の低減・除去
歴史・文化	歴史的施設／神事・行事・伝統芸能	保全したい景観：中札内神社／石見神楽	情報発信

2.開催目的

- ・令和5年度アンケート、第一回ワークショップより、景観形成に向けて村民との協働が必要な問題点について、今後の取り組み方針を協議することを目的とする。

景観形成に向けて村民との協働が必要な問題点



耕地防風林
景観保全には農家・村民・村の協働が必要

市街地
景観形成には村民・事業者・村の協働が必要
※ワークショップでは、より多くの方が生活する中心市街について議論

3.開催概要

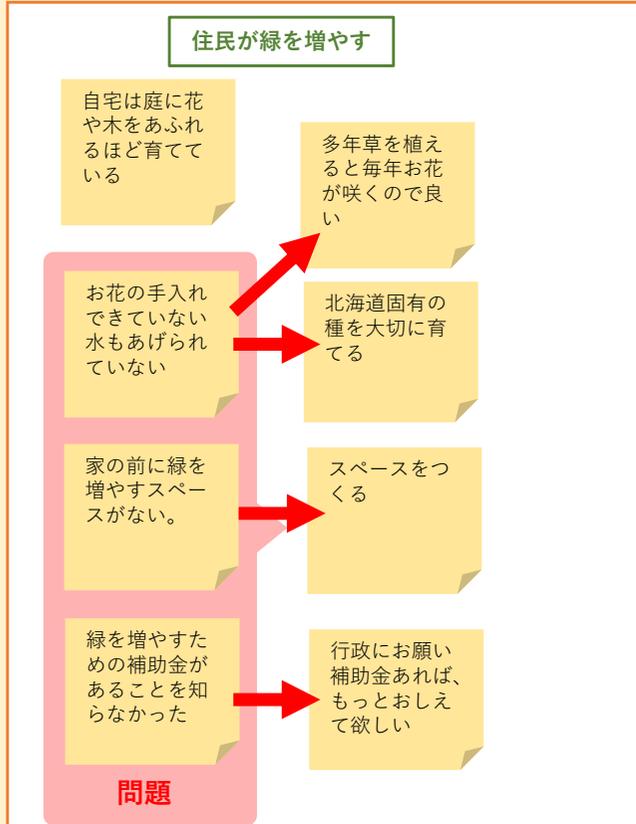
進行プログラム

1. 本日の目的について
2. 村の景観問題について
3. グループワーク (40分×2テーマ)
4. グループワークの結果について意見交換

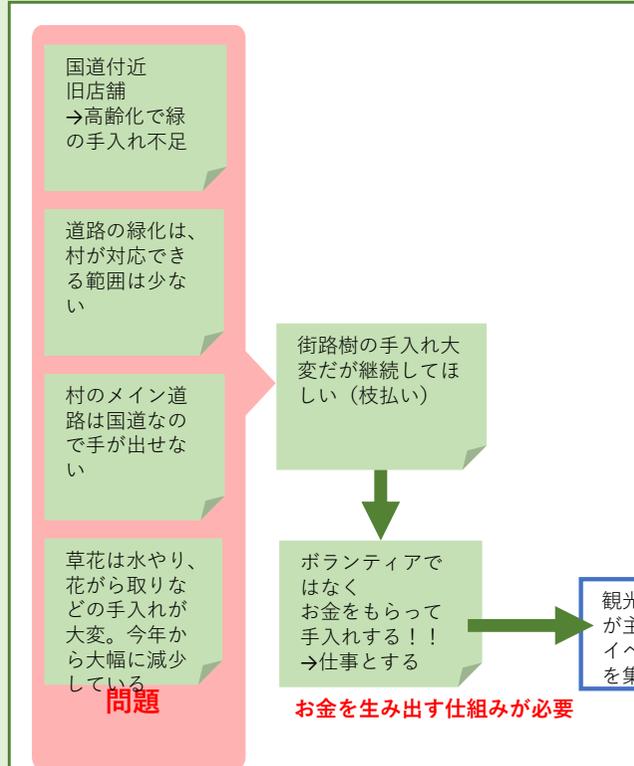


4.開催結果：テーマ①中心市街地の景観をどのように形成していくか 1班

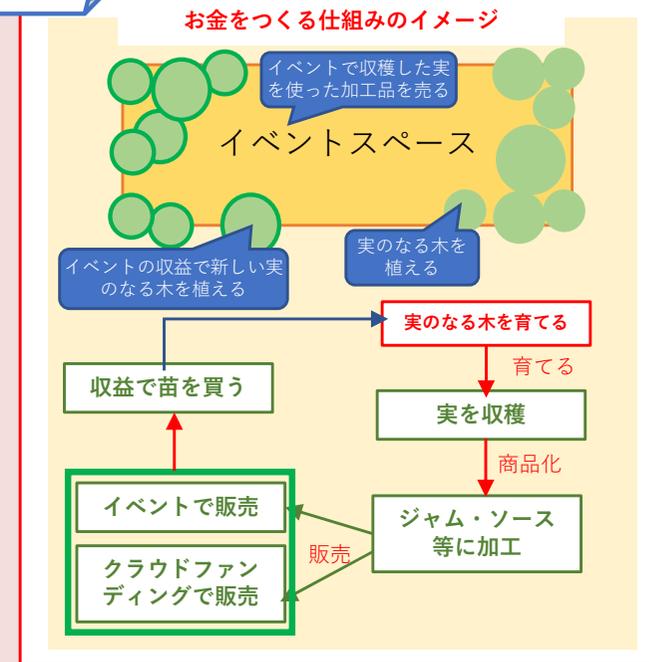
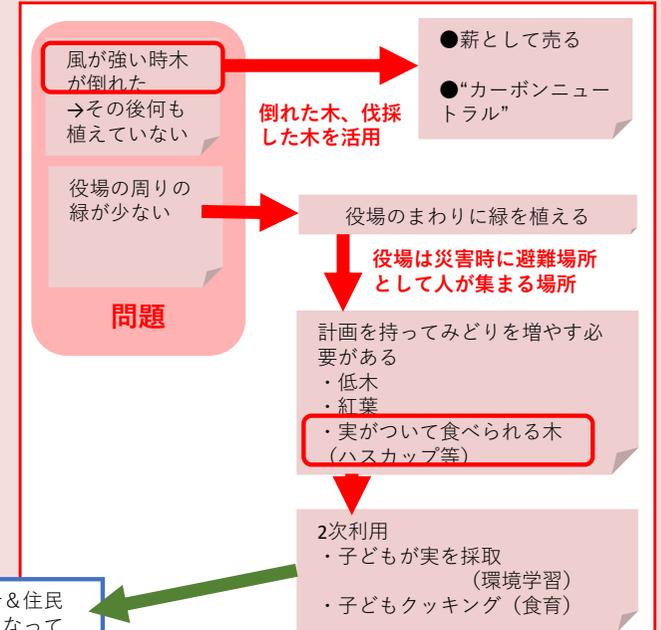
私有地



道路



公共施設



4.開催結果：テーマ①中心市街地の景観をどのように形成していくか 2班

私有地

住宅の周りに花等を植える住んでいる人が少し助成する

緑化支援対象を増やす1戸ではなく区単位で実施

各個人で家の庭に在来種を植えるスズランカタクリ

いくつかの植木にのみ支援金（景観に良いと思われる）を出す

目隠しにはこの木、日陰にはこの木、シンボルツリーはこの木など中札内の推薦リスト
→大きくなりすぎないもの、手入れの楽なものが多い

ゴミ拾いのあとに苗を配る
→中札内村のものだと良い

花植えや緑化は個人単位ではなく区単位で実施→効果大

農業高校や施設にお願いし在来種を栽培、配布or販売して広める

シラカバ1本150円森林組合から購入→許可を取って土手に植えている

道路

道路の雑草が気になる
・草を取る
・村民が定期的に年一回

電線に支障がある場合は樹高の低い種類に変更し緑の景観を保つ

カラフトイバラ（ハマナス等）在来の低木を植樹して北海道らしい景観にする

住民が、ゴミ拾いもしている中心地を同じようにする

一貫した“花とアート”のイメージを村道にも生かすため“景観形成のルール”を植物に当てはめて、支援金対象のルールを作ってみるのはどうだろうか？
“ガーデン”を思わせるデザイン性や色などを考える？
ドイツを思わせる？ 何かテーマに合わせて

中札内村の個性を思わせるようなテーマのある植物の一貫した色彩やイメージ。
ガーデンデザイナーに宿根で気候に合うもの

イタドリ→定期的に刈っている（見通し悪くなる）
→どこに何を植えるか決める

歩道などに植える
手入れは住民と行政でしていく

ふき、シャクエゾニュー等を積極的に活用する。北海道らしい景観

公共施設

公共施設を利用している人が草取りや花を植える働いている人・関係者も

公共施設周辺のレイアウト再計画
自然はある
花の位置を何年かで変える
→レイアウトを変えると新しく感じる

関心のある人
学校、子どもに考えてもらう

積極的に在来種を植える

中札内の村花スズランを植える

在来種 中札内に合うもの
テーマに合った花を増やす

4.開催結果：テーマ①中心市街地の景観をどのように形成していくか 3班

私有地

庭が無くてもプランター等で各家庭で花づくりを楽しめるようにしたい
作り方のアドバイスを受けたり行政からの苗提供があると取組みやすい

**庭が無い人にも使える
プランター！**

庭を綺麗心がけ

意識！

<行政>
農村部について太陽光パネルの新設についてのルール規制を中札内も明確にする
<家庭>
お花などを各家庭植えれば自分の家のまわりもきれいにする

**ソーラーパネル
どうする？**

西洋負けない美しさ

方針 **統一感+整う+中札内**

村が景観の良い新市街地を形成する道の駅周辺

村が新市街地を形成する(村南側)

道路

花壇の管理を募る

花壇を整える

道路の花壇の手入れをみんなで参加してできるようにしたい

手入れが必要

草刈り
雑草×

車道と歩道の草刈り(草取り)
↓
村民ボランティア

歩道の雑草をきれいにとりたい
行政と住民、事業者等と協力して、定期的に草刈りをしたい

街路樹整えた
い剪定

高木ではなく
中低木

届け出+ルール

メインスト
リート

無電柱化
(一部でも)

電柱地中化

道路メインストリート
<行政>
・電柱の地中化メインストリートでもできればパツツン街路樹をやめる(これ以上パツツンさせない)
歯抜けのところは再植林?見た目を整えることができれば

誰でも出来る
プランター

**みんなで植えることを
話し合っていく
(重労働・大変・人手不足)**

公共施設

帯広駅

統一感

<行政>
公共施設も新設や改修する際は色や建築資材は統一するルールづくり

桜の木1年1本植える
北海道に頼む

小学生
希望者

公共施設に桜の木を植える。
役場、小中学校、公園
→植樹祭など

桜の木

花壇の管理者募る

Good!

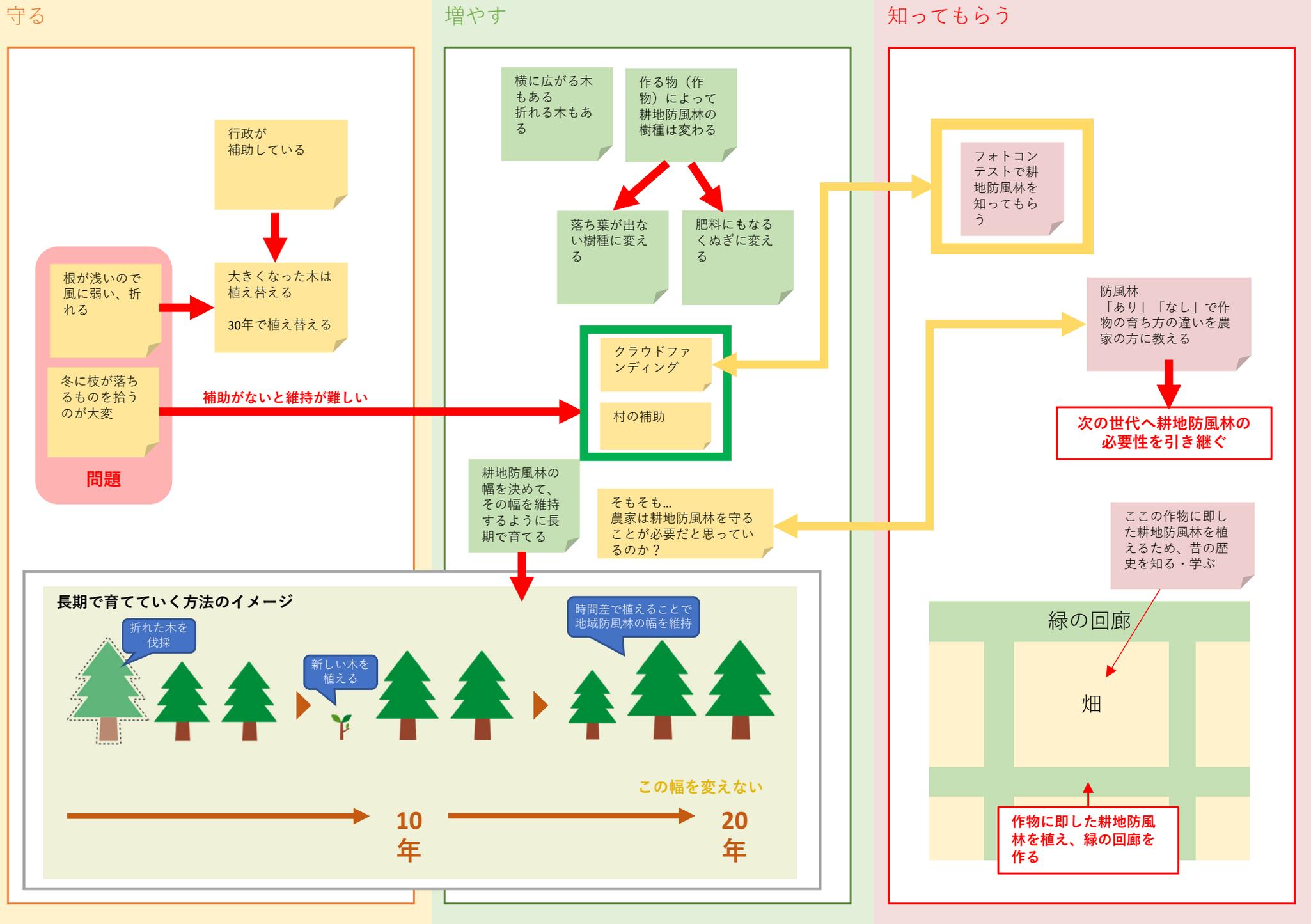
道の駅
自然を楽しめる仕掛け

Good!

窓下に花
入口ドアに
リース(丸く
花を飾る)

**Good
Idea!**

4.開催結果：テーマ②カラマツ等の耕地防風林をどう残していくか 1班



4.開催結果：テーマ②カラマツ等の耕地防風林をどう残していくか 2班

守る

守るための
助成金
補助金

イギリスでは、農地
景観の維持のために、
国が農家を支援して
協力してもらっている
ケースがある。

森林を管理する
業者に支払う部分
を支援

効果的な防風林
のあり方（防風
効果のある面積、
木の種類）

効果的な防風
林の在り方が
あると良い

ガイドライン
的なものがあると
良い

周知する

今ある防風林を守るプラン、
何十年か先に、利益を生み出
せる植樹プランを林業と作成

高く売れる木を防風林に？

防風林から利益を生み出す→
支援金
林業に活用できないか
薪、ウッドチップ、山菜、木
材、ほだ木

利益を生み出すシステムをつくる

↓
農家ではできない

↓
できる業者があると良い

増やす

計画的に植える、
植えなおす

防風林で生ま
れる利益
伐採で収益に
なる仕組み

知ってもらおう

管理に手間がか
かる
防風林の役目を
知ってもらおう

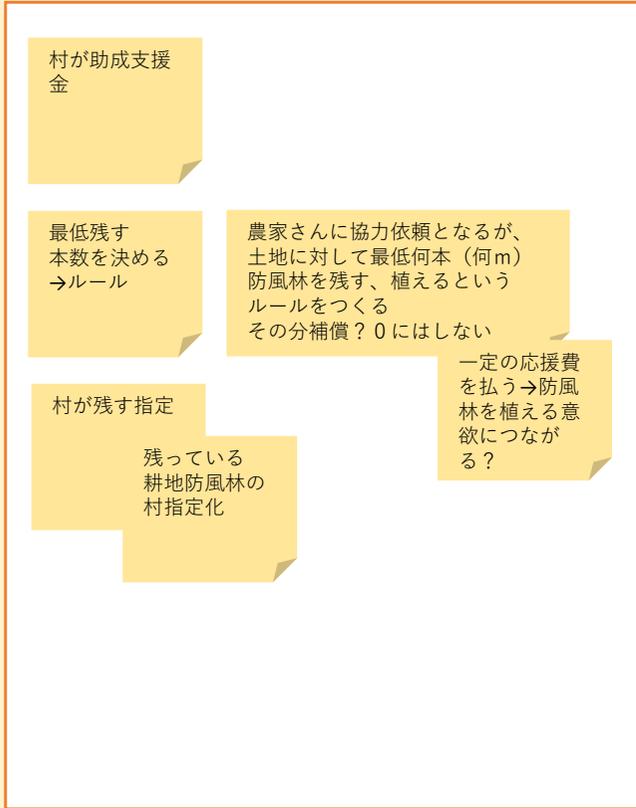
学習の場（生
態系に重要,,,）
→ 守る努力意
義に繋げ、利益
収益にする

シカの住処に
なっている

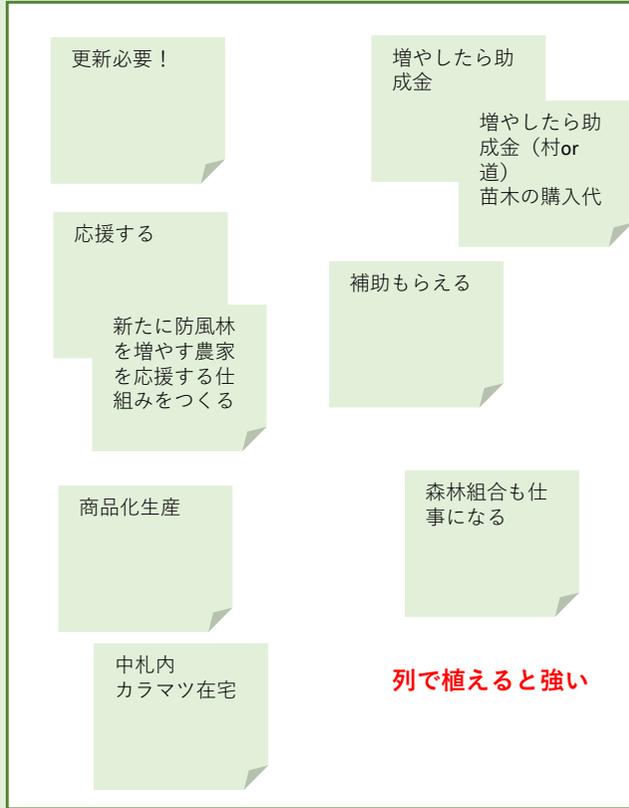
→ 畑が荒らされる

4.開催結果：テーマ②カラマツ等の耕地防風林をどう残していくか 3班

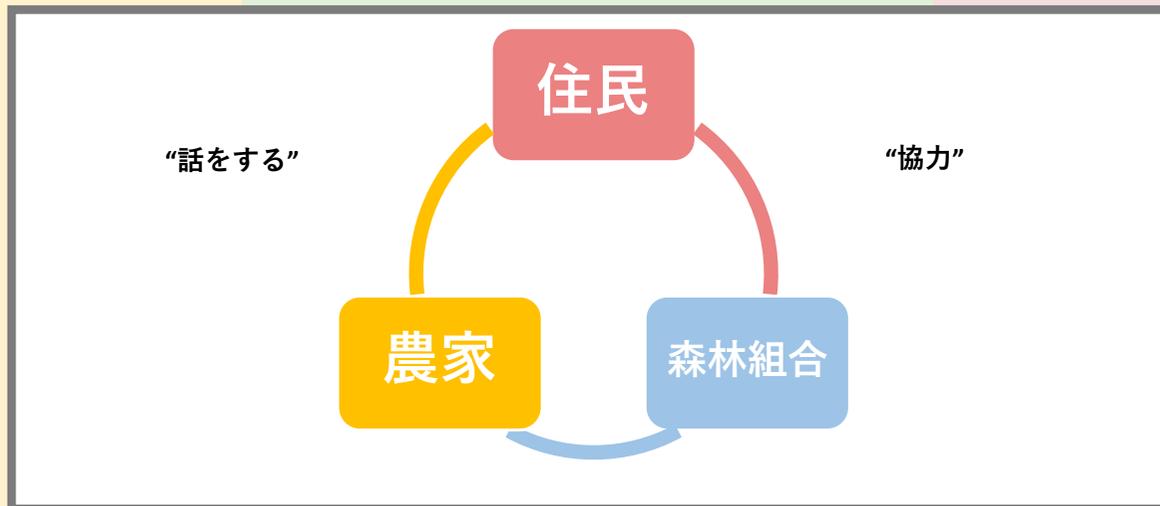
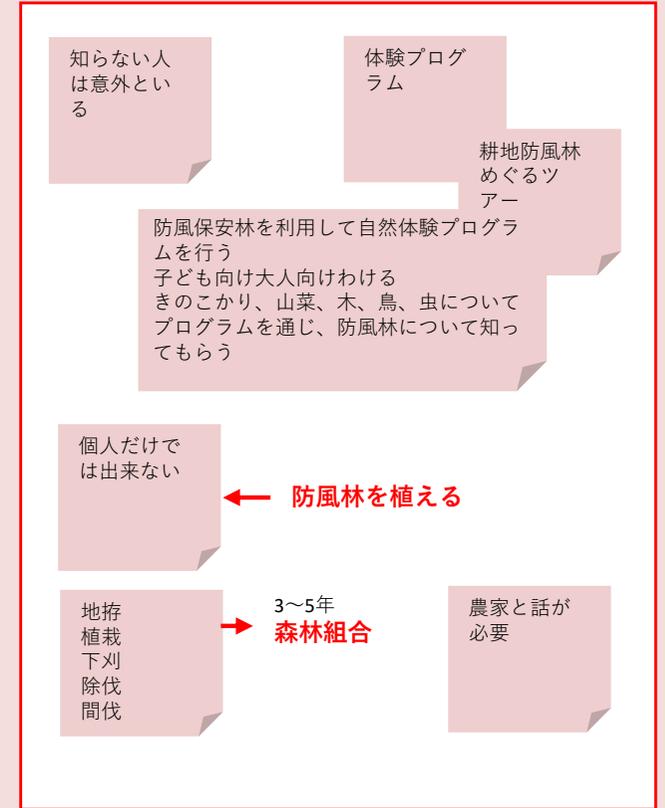
守る



増やす



知ってもらおう



4.開催結果：テーマ①中心市街地の景観をどのように形成していくか（まとめ）

分類		意見
私有地	みどりを増やす	村民が、住宅周りにみどりを増やす（北海道らしさ、在来種など）
		学校や施設管理者が、栽培して配布または販売する
	みどりを増やすための支援/仕組みづくり	私有地、家の前でみどりを増やすためのスペースを作る（プランター等）
		花や樹木の種類の推薦リストをつくる（北海道らしさ、村の在来種、景観性、維持管理性、テーマにあわせる）
		村が、みどりを増やす支援をする（苗を配る、対象の植物を絞って補助する、区単位で効果的に支援する等）
		村が、補助金を周知する 植栽や維持管理のアドバイスをする
整える	村民が、家の周りもきれいにする 村が、太陽光パネルの新設のルール規制を明確にする	
道路	みどりを増やす	住民が、花を植える、花壇を整える（北海道らしさ、在来種、維持管理性） 村が、住民が利用できるフラワーポットやプランターを用意する
	みどりを増やすための支援/仕組みづくり	デザイナーなどと協力して、花や樹木の種類を定める（北海道らしさ、村の在来種、テーマにあわせる、維持管理性）
		管理が大変なため、観光協会や住民が主体となってみどりを活用してお金を生み出す仕組みをつくる
		みんなで維持管理方法について話し合う
		花壇の管理者を募る
	整える	道路管理者が、街路樹の手入れ、剪定をする（メインストリート、国道等） 村民や行政、事業者が道路の雑草を抜く、ゴミ拾いをする 道路管理者が、一部でも無電柱化する
整えるためのルール作り	街路樹を整備するためのルールや必要な手続きを定める	
公共施設	みどりを増やす	公共施設の利用者や関係者、希望者が植樹祭などを通じてみどりを増やす（役場、小中学校、公園等） 桜の木などを行政に提供してもらう
	みどりを増やすための支援/仕組みづくり	みどりを増やすための計画を作る（災害時の影響などを考慮、レイアウトを適宜更新、自然を楽しめる仕掛け）
		花や樹木の種類を選定する（実がなる、在来種、景観性、維持管理性）
		木を活用する（イベントで販売、子供への教育の場）
		観光協会や住民が協力して、お金を生み出す仕組みを作る（木の実の加工品等を販売して、利益で苗を買う） 花壇の管理者を募る
	整える	公共施設の利用者や関係者が雑草をとる 新設や改修時に公共施設の色や資材を統一するためのルール作り
その他	新市街地を形成する 村が、道の駅周辺、村の南側に景観の良い新市街地を、形成する	

4.開催結果：テーマ②カラマツ等の耕地防風林をどう残していくか（まとめ）

分類		意見
守る	管理する	計画的に管理する（大きくなった木の更新、列の幅・植樹や更新のタイミングを調節することで長期的な管理）
	農家への直接的な支援	村、行政が協力してくれた農家の方に補助を出す クラウドファンディングを実施する
	守るための指針や仕組み作り	樹種を選定する（作物に応じたもの、落ち葉が落ちず維持管理が楽、肥料などへの利用）
		今ある耕地防風林を守るためのプランやガイドラインをつくる 残す防風林の対象や、残すためのルールをつくる（本数、場所） 利益を生み出す仕組みを作る
増やす	管理する	計画的に管理する（大きくなった木の更新、列の幅・植樹や更新のタイミングを調節することで長期的な管理）
	農家への直接的な支援	村や北海道が協力してくれた農家の方に補助を出す クラウドファンディングを実施する
	守るための指針や仕組み作り	樹種を選定する（作物に応じたもの、落ち葉が落ちず維持管理が楽、肥料などへの利用、高く売れるもの）
		林業と協力しながら、将来的に収益化を図るプランや、ガイドラインをつくる 応援する仕組みをつくる 森林組合等と連携を図りながら、収益になるような仕組みを作り、持続的な管理をしていく（住宅資材、薪、ウッドチップ、ほだ木等）
知ってもらおう	周知する	フォトコンテストを通じて知ってもらい、クラウドファンディングなどに活用する 教育の機会やツアーとして企画する（防風林の生態系など） ガイドラインなどを利用し、効果的な防風林の在り方（樹種、防風効果のある面積）や効果等を周知する
		周知し、連携体制を作る